

発泡ポリウレタン底は

長期保管には適していません！

◎発泡ポリウレタン底は軽量で耐摩耗性に優れていますが、**長期保管(一般的に製造後4年以上)すると、使用頻度に関わらず新品の状態でも経年変化(加水分解)を生じ破損する場合があります。**次の取り扱い方法にお気遣い頂く事で長くご使用頂けます。

(1)長期保管を避け、なるべく速やかにご使用ください。

(2)直射日光や高温多湿の場所を避け、風通しの良い日陰で保管してください。

◎長期保管せずに、日々ご使用頂く事により加水分解の心配はほとんどございません。

製 造 年 月

加水分解とは

◎ポリウレタン特有の現象で、空気中の水分などの成分によりポリウレタンの強度が低下し、靴底の欠け、脱落が起こる現象です。(右図)



快適安全短靴をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前に次の事項に注意されますようお願い致します。

1. この安全靴は、先しんで覆われたつま先部を保護するもので、JIS T 8101 (安全靴)に規定する安全性能を有していますが、それを超える衝撃、圧迫に耐えられるものではありません。
2. 滑りにくい靴底ですが、油や水の多い場所では気をつけてご使用ください。
3. 一度衝撃や圧迫を受けた安全靴及び足甲プロテクタは、外観のいかにかわらず使用しないでください。
4. 着脱式足甲プロテクタを使用する場合は、安全靴の先しんの後端にプロテクタ本体が必ず 3mm 以上重なるように取り付けてください。
5. 安全靴の性能が低下しますので、先しんに穴をあける等の加工はやめてください。
6. 耐踏抜き性 P を表示してある安全靴は、1100N(112.2kgf)以上の踏抜き強度がありますが、それを超える強度に耐えられるものではありません。
7. つま先部に硬質の先しんが入っていますので、足入れには充分注意してください。
8. 跳び降りると事故の原因となる場合があります。
9. 靴底の材質によっては床の外観を損なうことがあります。
10. 革が破れて先しんが露出したり、靴底の意匠がなくなったような場合は、使用しないでください。
11. 先しんが入っていますので、スポーツやレジャー、その他の目的には適していません。
12. かぶれやかゆみ等、足に異常を生じた場合はご使用をやめてください。
13. 靴のサイズは目安にすぎませんので、実際に履いてみて足に合う靴をお求めください。
14. 靴が脱げないように、靴ひもや面ファスナはしっかり締めてください。また、かかとをつぶしてお履きにならないでください。
15. 牛革を使用した靴は、多少色落ちを生ずることがあります。また牛革の場合、甲革表面が白く粉をふいた様になることがあります。これは革に含まれる油脂分ですので布で軽く拭き取るによりきれいになります。
16. 金属切削くず等の鋭利な物を踏むと切り傷ができ、底割れの原因となります。
17. 通常温度以上の熱場、または熱体に直接触れるような作業環境(炉前作業、鋳造作業、熱処理作業、溶接作業など)では、底が溶解することがありますので、使用しないでください。
18. 酸・アルカリ等の薬品やシンナー等の溶剤、水を多量に使用する作業環境では、はがれや破損、加水分解による劣化などを生ずることがありますので、ご注意ください。なお、靴に水、薬品が付着した場合は速やかに拭き取ってください。